

平成24年度 第167回 教育研究審議会議事要録

日時 平成24年7月24日(火) 13:30~14:25

場所 北方キャンパス本館 E701 会議室

出席者 近藤学長、岡本副学長、梶原副学長、木原副学長、井村事務局長、伊藤外国語学部長、吉田経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、伊野地域創生学群長、龍国際環境工学部長、横山社会システム研究科長、王マネジメント研究科長、田部井学生部長、田村大教務部長、古賀都市政策研究所長、八百冨図書館長、漆原基盤教育センター長、柳井入試広報センター長、隈本情報総合センター長、廣渡評価室副室長、上江洲地域貢献室副室長

- 配布資料
- 1 欠員補充申請書(文学部)
 - 2 特任研究員の選考について
 - 3 澳門大学及び香港大学との覚書締結について
 - 4 寄付金の受入について
 - 5 新図書館の学内パブリックコメントについて
 - 6 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

第1号 教員の採用について

* 資料1のとおり、文学部からの申請に基づき、平成26年3月31日付けで定年退職する河北靖准教授の後任として、日本古典文学(中世・近世)担当教員1名の欠員補充について提案。

- 比較文化学科では、平成22年度に専任教員1名が休職となったことから、それ以降、実質的に1名欠員の状態で最低限の教育体制を維持してきたが、教育責任の面では十分とは言えない状況にある。こうした中、平成25年度にはカリキュラムの改編が控えており、学科として教育体制を早急に立て直すことが喫緊の課題となっている。このため、河北准教授の退職は平成25年度末であるが、1年前倒しして、平成25年4月1日付けで後任を採用することとしたい。

なお、改編後のカリキュラムにおける授業担当の配置を検討した結果、後任者の担当分野を「日本古典文学(中世)」から「日本古典文学(中世・近世)」へ変更して行うこととする。

- 学科内の教育体制について、平成25年度末までは、現在の専任教員で緊急避難的に対応していく方法は考えられなかったのか。
- 1名の欠員については、これまでも現在の専任教員や非常勤講師で対応してきたが、教職免許に関する授業をはじめ、学科としての教育責任の観点からは不安定な状態が続いている。平成25年度のカリキュラム改編に合わせた今回の提案によって、これを解消したい特段の事情があることを理解してもらいたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

第2号 特任研究員の選考について

* 資料2のとおり、国際環境工学部の特任研究員1名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第3号 澳門大学及び香港大学との覚書締結について

* 資料3のとおり、澳門大学及び香港大学との覚書締結について提案。

- 海外大学との教育研究における相互協力の推進のため、澳門大学との大学間との覚書締結及び香港大学との大学院ベースでの学術交流協定の締結を行う。香港大学については、相手方との今後の調整により、大学間の覚書締結になる可能性もある。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

報告

- ① 寄付金の受入について、資料3のとおり報告があった。
- ② 新図書館の学内パブリックコメントの実施について、資料4のとおり報告があった。
- ③ 教員の海外出張について、資料5のとおり報告があった。
- ④ 次回の審議会を9月11日（火）に開催する予定である旨、報告があった。